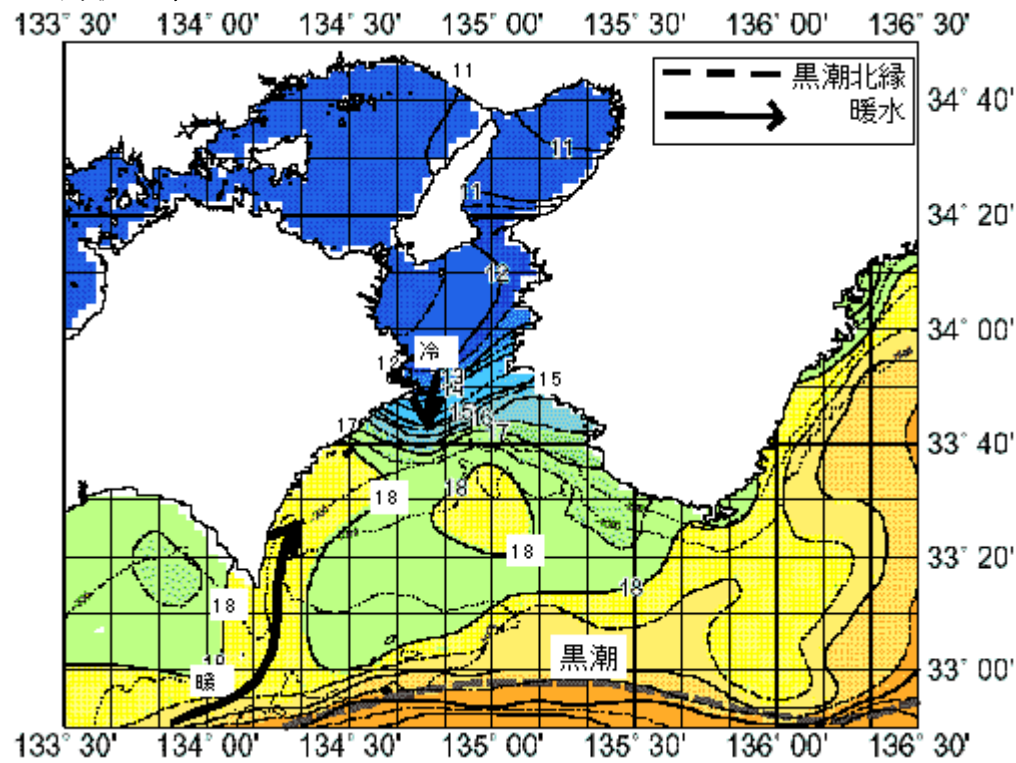


1. 海況の経過



海況

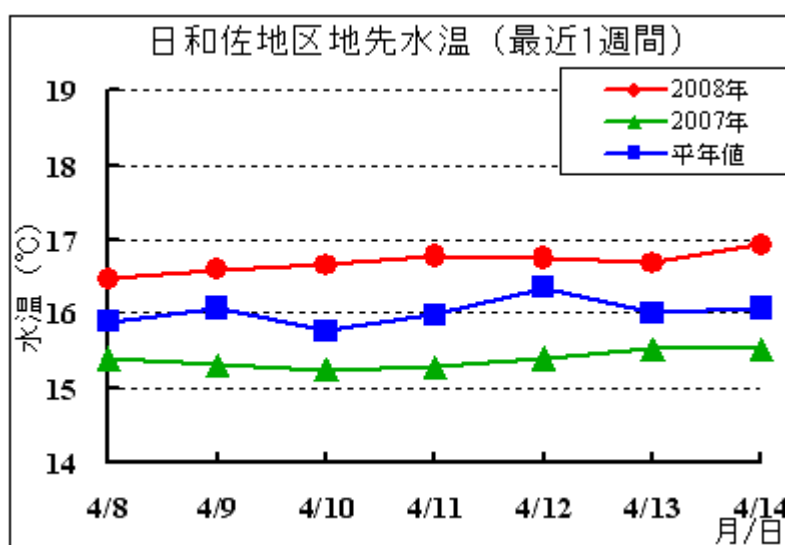
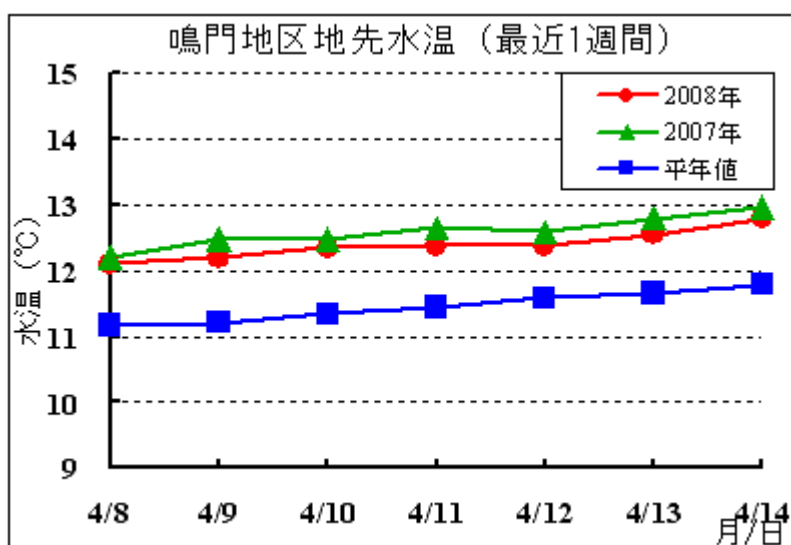
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.04.14)を示した。黒潮は室戸岬沖、潮岬沖ともにやや離岸している。黒潮本流の表面水温は19～20℃台である。表面水温は播磨灘が11℃台、紀伊水道内部が11～13℃台、外域が13～18℃台である。先週に引き続き、室戸岬沖から海部沿岸へ18℃台の暖水が流入しており、海部外域では18℃台の暖水塊がある。また、蒲生田南まで内海系水に覆われている。

漁業調査船「とくしま」が3月8日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は各層とも「やや高め」の11.1～11.6℃であった。

観測日		水温				水温			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
4/8	今年値	11.6	11.5	11.3	11.1	32.9	32.9	33.0	33.1
	平年偏差	0.7	1.2	1.2	1.1	0.4	0.3	0.3	0.4
	前年偏差	0.3	0.3	0.2	0.1	0.4	0.3	0.3	0.4

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の12.1～12.8℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の16.5～16.9℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の17.6～18.5℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、マルソウダが0.3トン(1日1隻あたり36kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、中主体にタチウオが0.9トン(同469kg)、マルソウダが0.5トン(同266kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中主体にカツオが1.9トン(同46kg)、タチウオが0.2トン(同22kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 04月07日~04月13日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置	海部沿岸	マルソウダ	9	328	36	
大型定置		タチウオ	2	937	469	中主体
		マルソウダ	2	531	266	
釣り		カツオ	42	1,922	46	中主体
		タチウオ	9	202	22	中主体

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬ともにやや離岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の12~13℃台、日和佐地先で「やや高め」の16~17℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の曳き縄で、カツオが17.7トン(1日1隻あたり35kg)、定置網で、ブリが43.1トン(同4.3トン)、ワラサが17.4トン(同1.7トン)、マアジが1トン(0.1kg)、パッチ網でシラスが21トン(同0.25トン)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上